

「第5回“本気”で語ろう会」 会議録

|     |                                            |
|-----|--------------------------------------------|
| 団体名 | 住みやすい向江町を再生する会                             |
| 日 時 | 平成 26 年 7 月 28 日（月）18 時 30 分から 21 時 00 分まで |
| 場 所 | 向江昭栄公民館                                    |
| 参加者 | 住みやすい向江町を再生する会（徳留 剛 様 外 20 名）              |
|     | 市長、原口副市長、福井副市長、市長公室長、商工観光課長、広報広聴課長         |

1 住みやすい向江町の再生について

提案：鹿屋市は、かつては鹿屋駅から旧市役所、桜デパートと本町へ続く駅前通りがあり、都会には無い人情あふれる都で、私は、この向江町をこよなく愛していたが、先代方が築いてきたご苦勞を思えば、このままではお先真っ暗である。

共栄町にはコンビニができたが向江町からは色々無くなっていき、頼みの綱は向江郵便局で、後はシャッターの下がった家屋だけの古びたアーケード街になってしまった。そこで、市役所から北田のリナシティを繋ぐパイプ役として向江・昭栄通りに人が集まれる何かをと考えている。

市長にお願いするばかりでなく、有志で会合を持ち、自分達の強い心意気で陳情に行く努力を惜しまず力を合わせて頑張りたい。この機会を出発点に、簡単にはいなくても一歩一歩進めば希望の光が見える。今日は意義ある会になってほしい。

回答：昔はこの地区に警察署や郵便局の本局があり賑やかだった。

昭和 49 年と比べると、向江昭栄地区の人口は 1,100 人だったのが今は 300 人となっている。内訳を言うと、昭栄は 500 人が 63 人。向江は 600 人が 244 人。高齢化率で言えば、鹿屋市の高齢化率は 65 才以上が 4 人に 1 人で 26%に対し、昭栄の 47%と向江の 33%で平均 36%となり、3 人に 1 人はご高齢で人口減少が著しい状況である。この地に人を呼び込むための努力をどうやっていけるか一緒に考えていきたい。皆さんの思いに応えていければと思う。

2 向江町に対する認識について

提案：向江町は、市の顔になる場所でもあるが、高齢者の生活や若い方の生活など、向江という町に対しどんな認識を持っているか。

回答：昭和 40 年代、私が寿町に住んでいた頃は、「街にいっど」と言っていたが、今は「飲んけいっど」と言う。昔は、本町や北田を含めてこの町が中心だったが、郊外に団地や住宅が出来て、買い物も車で行ってまとめて買ってくるなどライフスタイルも変わっている。現在は高齢者が多く、買い物も食事にしても住んで長生きできる環境になっているのか考えないといけないし、その為には介護、福祉、買い物など、いったい何が足りないのか皆さんからも出していただきたい。

また、本地域は中心市街地の周辺部になっており、リナシティを中心とした、青写真が描かれていたが、その後に大きな経済の変化があった。空き家対策や商店街

の活性化、コミュニティ機能の再生など、地域の皆さんが地域のことを考えて、我々行政がサポートするので、皆さんの声が行政の対応方針に繋がっている。

### 3 空き家対策について

提案：空き家対策は、どんなことをしているのか。

回答：危険な空き家については、管理の徹底をお願いしているが、管理ができていない場合、勧告を行い、それでも解決しない場合は公表を行なうことにしている。

また、6月補正予算で、1戸あたり上限30万円の50戸分の予算を組んでいる。これは、老朽化した空き家の危険度などを順番付けして解体費用の補助を行っていく予定であり、3年で150戸位予定している。

また、商店街の空き店舗を改造して使おうという人たちや、照明のLED化についても補助を検討したい。

LED街路灯設置の一部助成や、イベントに対する助成も行っている。国等の支援制度もあるので、皆さんの声があれば取り組んでいきたい。

### 4 向江地域の振興について

提案：向江地域は、以前鹿屋の中心であった。現在は、市役所とリナシティの位置関係を考えると、向江町だけがくぼ地となっている。

回答：当時、リナシティが本来の機能を果たすことで、その効果が周辺地域まで広がることを想定していたと思う。市の計画では、向江町は市街地中心区域になっているので、集客の回遊性を高めることや、リナの効果が向江町まで来ていないことに対して、大きな視点で皆さんと意見交換を行い考えていきたい。

また、鹿児島銀行が同じ場所で建て替えを行ったことについても、地元企業がこのようなことをしてくださるのは、大変ありがたい。

今後、北田にレストランができるので、街の賑やかさも若干変わってくると思う。大型の交番もできる。街づくりは少しずつ丁寧に行っていきたい。

今、市が向江町に施設を作るなどの青写真はないが、スポーツ施設の再配置計画により中央公園の整備を行う予定である。そこに来た人たちが、導線の問題はあるものの、県道側に下りてきてもらえれば良いと思う。

### 5 中心市街地活性化法の活用について

提案：中心市街地活性化法の補助金を2回使った自治体もあるが、鹿屋市はどうか。

回答：北九州や熊本、静岡は2回使っている。ただ、向江町で活性化法の支援を受けようとしても、既にリナシティを作るときに補助金を活用していることから、新た

な補助金活用は難しい。

## 6 市街地の核になる店舗について

提案：どこの都市も、核になる店舗をもっている。鹿屋市はどの企業を考えているのか。

回答：リナシティを作るとき、プリンスホテル、阪急、三越と色々構想があったが、結果として、大隅の顔になるような核店舗が入っていないのが現状であり残念である。

しかし、東九州自動車道が来年開通するので、これにより人の流れが変わってくることや、肝付町に中高一貫校ができることで、全国から子供たちが来るかもしれない。子供を預かれば親も来るようになり、鹿屋に宿泊することも考えられる。また、細山田には、県の加工技術拠点施設が整備され、6次産業化により農産物に付加価値を付ける。このように、今、鹿屋市には色々な風が吹いている。

更に、県では、有明高校の学校跡地にスポーツ合宿施設ができ、体育大学と含めて一流のアスリート達が来るようになることに併せ、志布志ではサッカーフェスティバルなど開催しているので、国道 220 号線をスポーツロードとして考えている。

なお、本市もスポーツ関係施設再配置計画を作っているが、西原グラウンドにサッカー、串良には野球を中心とした計画で、今年は串良に野球の室内練習場を作る予定であり、幼稚園の運動会など色々な人たちを呼び込めると思う。また、鹿屋中央高校の野球部の活躍も追風になる。向江町の振興についても、鹿屋市全体が発展することで、この地域も発展につながると考えている。

提案：企業誘致はどうしているのか。

回答：新たな誘致も大切だが、施設の拡張、つまり工場を大きくしてもらい新たな雇用を生むことも大事であり、何件かは計画もある。

また、本県出身者で、県外で成功している人たちに、鹿屋の応援団になってほしいと考えている。この方たちには、故郷を熱くしたいという気持ちがある。人口が減っていくのは避けられないが、この人達に県外から鹿屋を応援していただいて、工場を持ってきたり、ふるさと納税を活用するなどしてもらいたい。

もう一つは、J Aが相当規模の野菜の加工施設を作る計画もある。色々な芽があるので大切に育てていきたい。

## 7 空き家・空き地対策について

提案：昭和 52 年にタイヨーがオープンした。当時は、本地区に 130 店舗近くの店があったが、今は 30 店舗も無い。老朽化した家屋が多く何軒も瓦が落ちており、屋根まで落ちている家もあるので、早急に対策しないといけない。

また、廃屋を壊した際に税の優遇措置がなくなることでもうにかしてほしい。管理条例もあるということで、手続きをしていく中で、持ち主の分からない所も出てくると思うが、代執行はしないのか。

回答：廃屋に係る税の特例については事実であり、取り壊すと税の金額が最大6倍になる。これについては、国の方でも今年の秋の国会に緩和措置を提出されるようであり、その中で取り扱われると聞いている。

代執行については、鹿屋市が代執行した場合、全て未収で残ってしまう。廃屋問題については、所有者をしっかりと特定し、廃屋の解体費用の補助制度の活用も併せて、努力していきたい。

## 8 肝属川のクリーンアップについて

提案：新聞に出ていたが、水質の指針であるBOD値について、肝属川の数値が悪化したとの情報があった。肝属川は一級河川の中でも水質が悪く、月に2～3回は川から異常な程の臭いがする。川に子豚が流れてきたこともあった。

以前は、タライアスロンなどのイベントも行っていたが、これだけ川が汚なくなってくると子供たちも川に入れさせられない。川をきれいにしたいと思う。

回答：川はまちの顔であり、知覧など川がきれいなことで人を呼んでいる地域もある。

市民の皆さんが水辺の清流で遊べるように、歴代の市長さん達も一生懸命やってきた。合併浄化槽の普及や国の浄化施設なども重要だが、市民の意識感覚の醸成も大切である。畜産の関係で確かに臭いもするが、これをどうにかしないといけないので、豚舎等にEM菌を使った浄化ミスト等の施設整備の補助を行っている。このようなことは、皆が一生懸命やっている中で違う考えの人がいるとだめなので、畜産と生活排水の問題を市民ぐるみでやっていく必要がある。

また、クリーンアップも国、県から表彰を受けたところであり、これも継続して実施していただきたい。

## 9 消防団員の確保について

提案：消防団について、鹿屋市全体の充足率は90%であるが半分はサラリーマンである。そのような中、いざ火事になったときは現地の消防団が動く。市職員の団員参加についてはどうなっているか。(充足率：定数に対する団員数の率)

回答：地域の団員は、火事だけでなく地域の担い手として確保していかなければなら

ない。条例では、その地域に住んでいる人若しくは働いている人が団員となっているので、昼間にこの地域で働いている人達にお願いするのも大事だと思う。

市職員の団員参加については、輝北の中央分団は市の職員で組織されている。同様に、他地域の職員にも地域の担い手になって色々出て行きなさいと指導している。皆様からも地域に対する気持ちを職員に話していただきたい。

また、女性団員についても、輝北、吾平にいたので頑張ってもらいたい。

## 10 コンパクトシティについて

提案：旧市街地が鹿屋市のために貢献してきたことは間違いないが、ここ 20 年は衰退の一途だった。何の手立ても無く放置の状態であったといっても過言ではない。タイヨーも閉店となったが、市の対策も特に講じられていない。

人口減少、高齢化社会対策として、コンパクトシティ構想（改正都市再生特別措置法H26.5.14 成立）で、今まで郊外に出ていたものを中心地へ戻していこうという話があるが、どう考えているか。

また、レストランが北田地域にできると話があったが、向江地域に作ってほしかった。

回答：コンパクトシティ構想は、小さい所に医療や教育、文化などの都市機能を集中し、周りとはネットワークで結ぶ構想。分かり易いのが小学校の統廃合であるが、市内で9校廃校になっており、人によっては地方の切捨てと思うかも知れないし、何もかも一箇所に集中してうまくいくのか考えないといけない。どこに住んでも同じような暮らしのできる街づくりをとは言いが、実際には難しい面もある。

また、誤解があるといけないが、北田にできるレストランについては、市が作るわけではなく、民間で事業採算があるということで作られるところである。

コンパクトシティ構想ということで、皆さんが主体的に、二つのものを一つに集中させるなどの思いがあれば、行政は補助などのサポートをしていく。

あと、空き家についても、残す価値があるものは修理をしてゲストハウスとして使えないか、そういったことも考えないといけないし、古民家なども地主と話をし、地域の財産として使うなど、考えてみてもよいかもしれない。

## 11 リナシティの効果及び市営住宅の建設について

提案：リナシティには毎年2億数千万円の税金を入れているとのことであるが、リナシティの効果はどうか。点としてのリナシティはあるが、市役所までの点を向江にもつくり、線や面にすることが必要で、リナシティだけに行こうという人はそんなにいないので、周りへの波及を考えないといけない。

また、市営住宅について、昨年9月の議会で、水洗化されていない364戸のうち159戸を建て替えると言っていたが、向江には空き地が多く今は地価も安いことから、159戸全部とは言わないが、向江地区にも市営住宅を持ってきてほしい。

回答：現状では、新たな住宅を作ることは考えておらず、骨組みを残して改修する計画であり、基本は今ある現地に建て替える。

また、市営住宅の設置については、民間との競合も考えねばならない。若い人たちは市営住宅やアパートに入居するが、この地域にそういったものがないことは事実であり、新たな住宅を建設する計画もないため、老朽住宅を再利用しアパートにするなど、何らかの方法を考えていただきたい。

提案：基本はそうであるかもしれないが、人の動き等を考えると郊外に作るのではなく市街地のほうに作るべきである。現地に作り変えることにこだわらず、市営住宅を向江に作ってほしい。向江町の人たちは鹿屋市発展のため本当に頑張ってきた人たちだと思うので、そういう人たちの思いを頭に入れて取り組んでいただきたい。

回答：皆さんの気持ちは受け止めたい。私は現地での建て替えをイメージしているが、色々な形でどういう仕組みを作るのか、ここで答えは出せないなので、持ち帰って検討したい。

## 12 空き店舗の再開発について

提案：タイヨーが閉店してからニシムタやサンキュー寿店等に行くようになった。

市が店舗を作るということではないが、市職員は営業マンであり、向江に対して何ができるか、再開発を民間の成り行きに任せるのではなく、今のうちに手立てをしていただきたい。

回答：まちを動かすのは、本来、市民や事業者である。市は橋や道路など共有できるものを作っている。事業者に対し、タイヨーについて今後どうしますかと聞くことはできるが、市の方で解体とか跡地利用とか言うことは難しい。

皆さんが不安になっている気持ちは分かったので、耐震等も含めて確認してみたい。

## 13 産科医療の充実について

提案：娘が北薩に住んでおり、一人目は鹿児島市で出産した。二人目が鹿屋市で出産予定であったが、産む場所がなく慌てた。

市長は、所信表明で産科医療体制の充実強化を早急に取り組むたいということであったが、早急というのはどれくらいのなのか。

回答：今回、4市5町保健医療推進協議会が立ち上がったが、大隅には子供を産める場所が鹿屋しかないため、医療体制をしっかりとしないといけない。一方で、大隅鹿屋病院が11月1日にリニューアルオープンであり産科も出来る予定であるが、医師がいない。県医療センターはハイリスク分娩のみ。そういったことをクリアして、しっかりとした医師確保対策をとることが必要であり、来年早々には行動を起こしたい。

## 14 一方通行の見直しについて

提案：向江は一方通行が多い。公共施設が多かったので一方通行が残っていると思うが、この見直しを検討していただきたい。

回答：一方通行は、当時の市民の皆さんの声でもあったと思うが、警察に確認したところ、地域の住民の声を聞いて、反対者がいなければ一方通行にしているとのことであった。

現在は、道路等の状況が変わっていると思うので、地元の総意として要望を出せば解決の糸口になる。そういう声を上げていただきたい。

## 15 霧島ヶ丘公園の活用について

提案：バラ園について、見るだけでは価値は長続きしない。一坪バラ園など参加型の公園を作っていただきたい。また、鹿屋は遊ぶところがない。バラ園にしても年末年始は休園であるので、どうにかしてほしい。

回答：平成 18 年からバラのオーナー制度があり、オーナーになった 2 年後にバラを持ち帰ってもらうようになっているので周知を図っていききたい。

また、正月の休園については、バラ園は休園となるものの、霧島ヶ丘公園自体は無休なので、ぜひ利用していただきたいし、ディスクゴルフやバンガローもあるので民間活用も含めて考えていききたい。

## 16 向江地域の再生について

提案：タイヨーが無くなり、郵便局もどうなるか分からない。買い物をすることが困難な年寄りもいる。ベリーマッチの跡地に、朝晩年寄りが買い物をできる店を作っていただきたい。その段取りを行政でしていただきたい。

回答：この街中で買い物難民がいるという話であるが、鹿屋市が店を作るわけにもいかない。ただ、お伺いしたことを言いつばなし、聞きつばなしにはしないので、お話のあったことを全部できるわけではないが、市政にいかに関与させるか持ち帰って努力をしていきたい。

提案：持ち帰って努力していきたいと言ったが、後から回答をいただくということはいかないのか。

回答：本気で語ろう会については、ホームページ等で公表していきたい。色々な要望は、具体的な内容をいただければ誠意を持って対応したい。

## 17 広報誌について

提案：広報誌は色をたくさん使っており、白黒と比べかえって見にくくなっている。どうかしてほしい。

また、桜花など、特攻隊が使用した機体などの模型を作って、史料館の公園に設置してほしい。

回答：市内に戦争遺産があり、これを守らないと貴重な戦跡がなくなる。しっかりしたものは保存して、学習につかいたい。

## 18 大型車両の規制について

提案：体育館から新生町に下る道路を高齢者が歩行しているが、中央公園の駐車場で休憩する大型車両が通って危ない。駐車場利用の規制はできないのか。

回答：状況を確認したい。